

# 令和2年度 嘉麻立碓井小学校 学力向上プラン

## ■視点1-②

《中期目標》主体的に課題を追究し、自分の考えを豊かに表現する児童の育成  
 〈成果指標〉令和5年度の全国調査の標準化得点：国語100以上 算数100以上

《短期目標》自分の考えをもち、その考えを表現できる児童の育成

〈成果指標〉令和3年度の全国調査の標準化得点：国語98 算数98 以上、NRT学力調査前年度比較1ポイントアップ  
 (令和3年度福岡県学力調査【中1】において、県標準化得点 国語98 数学98 以上)

## ■視点5

### 【家庭・関係機関との連携】

#### 〈取組(指標)〉

⑤家庭学習系統表に基づいた質と量の家庭学習を実施(毎日実施)

#### 〈成果(指標)〉

◆児童アンケート「家庭学習の目標時間達成率」(100%以上)

## ■視点2

### 【授業づくり】

〔授業改善〕

#### 〈取組(指標)〉

③「問いづくり・思考づくり・価値づくり」のある授業を展開する。(毎時間実施)

#### 〈成果(指標)〉

◆児童アンケート(「授業が分かる」「交流することで自分の考えが深まった」)3.5以上：4段階評定尺度)

〔自分の考えを表現する力の育成〕

#### 〈取組(指標)〉

④「かく活動」「表現し合う活動」を設定する。(毎時間実施)

#### 〈成果(指標)〉

◆児童アンケート(「自分の考えをかいている」「自分の考えを発表(説明)している」)3.5以上：4段階評定尺度)

## ■視点4

### 【教員の意識・指導力の向上】

#### 〈取組(指標)〉

③研究テーマに基づく全学級授業公開(担任3回、専科1回)

④学力テストなどの分析をもとにした授業改善の研修(年3回)

⑥小中合同研修会の実施(年3回)

#### 〈成果(指標)〉

◆教員アンケート(「授業改善の視点を、日々の授業づくりに生かしているか」)3.5以上：4段階評定尺度)

## ■視点3

### 【学力基盤づくり】

〈取組(指標)〉①習熟度別分割授業(全学年 算数 学期1回実施)

①専科教員による補充学習(月～金曜日給食準備時間 C層・D層対象)

②「鍛ほめ福岡メソッド」における称賛活動を設定する。(毎月1回)

〈成果(指標)〉◆重要単元テスト(期待値通過率80%以上)

◆「自分には、よいところがあると思いますか」「当てはまる」:50%以上)

## ■視点1-①

### 全国学力・学習状況調査及び児童生徒による授業評価から見た「課題」

教科	国語		算数		・目的や意図に応じ、自分の考えを明確にし、まとめて書くことに課題R1 ・論理的に考察し、数学的に表現することに課題R1 ・学力低位層(C層・D層)の割合が全国より大きいR1
	R1	R2	R1	R2	
全国調査標準化得点	95	—	95	—	

質問紙調査等	・話し合う活動で自分の考えを深めたり広げたりする(当てはまる:28%) R1 ・児童アンケート「自分の考えをもち、友達とその考えを伝え合っていますか」(評定3.4:4段階評定尺度) R1 ・自分には、よいところがあると思う(当てはまる:49%) R1
--------	---

### 授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

- ①基礎・基本が定着していない児童に対する補充的な学習が不十分
- ②主体的な目標設定、評価の場が不十分
- ③研究の日常化
- ④授業の中で根拠をもとに自分の考えを説明したり、条件をつけて考えを書いたりする学習活動が不十分
- ⑤家庭学習が習慣化していない児童
- ⑥中学校区における研究が不十分